2017年度　経済地理学会熊本地域大会（西南支部）【第4報】

１．大会テーマ：地震災害と地域経済

２．大会の趣旨

　日本の国土は豊かな自然に恵まれている反面，様々な自然災害の脅威に直面しており，なかでも大地震とそれに起因する津波などの災害は被災地に甚大な影響を及ぼしてきた。被災地の復興には生活の再建が不可欠であり，地域の産業や経済の視点から復興を展望していくことが求められている。

　地震災害からの復興をいかに図るかは，経済現象の空間性・地域性や地域問題を研究対象とする経済地理学の立場からみても重要な課題であり，これまでも被災地に在勤・在住する経済地理学者が中心となって研究と実践が行われてきた。経済地理学会では2011年5月の大会において「東日本大震災の復旧・復興と経済地理学の課題」と題した緊急シンポジウムが開催されたが，その後の研究蓄積もふまえて，されに議論を発展させていく必要がある。

　そこで今回の熊本地域大会では，「地震災害と地域経済」を大会テーマに定めて議論を行う。その際，昨年の熊本地震の被災地であることから，熊本の復興を念頭に置きつつも，他の地震災害の経験との共通点や相違点にも留意し，地域経済の側面から復興のあり方を展望したい。加えて，災害からの復興における経済地理学の役割についての議論を深めたい。

３．日程：2017年11月26日（日）・27日（月）

　11月26日（日）

10:00～11:00　常任幹事会

11:00～12:00　評議会

　　13:00～17:00　シンポジウム

18:00～20:00　懇親会

　11月27日（月）　エクスカーション

４．会場：熊本大学黒髪北キャンパス文法学部棟

５．シンポジウム

13:00～13:10　開会挨拶・趣旨説明：伊東維年（熊本学園大学）

13:10～13:50　基調講演：山川充夫（帝京大学）

13:50～15:10　個別報告

上田哲也（熊本県商工観光労働部政策調整審議員）

鹿嶋　洋（熊本大学）

土屋　純（宮城学院女子大学）

稲吉淳一（阿蘇市観光協会長）

（発表題目は近日中に確定）

＜休憩＞

15:25～15:45　コメント：高木亨（熊本学園大学），柳井雅也（東北学院大学）

　15:45～17:00　討論

　17:00　閉会

座長：外川健一（熊本大学），宮町良広（大分大学）

６．懇親会

　日時：11月26日（日）18:00～20:00

会場：ホテルメルパルク熊本（熊本市中央区水道町14-1　096-355-6311）

　料金：一般5000円，学生・院生3,000円，当日受付。（予定）

　シンポジウム終了後，熊本大学から懇親会会場まで借り上げバスで移動（往路のみ）。

７．エクスカーション

テーマ：熊本地震の被災地の現状と復興の現場をみる－益城町・西原村・南阿蘇村エクスカーション－

　11月27日（月） 8:30熊本駅前集合・出発(予定)

　　　　　　　　　16:30阿蘇くまもと空港，17:30熊本駅前到着・解散(予定)

　募集人員：30～40名程度(申込み・料金等の詳細は第3報にて通知予定)

　案内者：鈴木康夫（東海大学）・中野元（熊本学園大学）

８．大会参加費：一般1,000円，学生500円

９．実行委員会

鹿嶋洋（委員長，熊本大学），伊東維年（熊本学園大学），鈴木康夫（東海大学），高木亨（熊本学園大学），外川健一（熊本大学），中野元（熊本学園大学），山本耕三（熊本大学）　（調整中）

10．問い合わせ先

〒860-8555　熊本市中央区黒髪2-40-1

熊本大学大学院人文社会科学研究部　鹿嶋　洋

e-mail　kashima@kumamoto-u.ac.jp

Tel.& Fax.:096-342-2445